保管用
よくお読みください
保証書付

取扱説明書

この取扱説明書はご使用になる前に必ずお読みください

三輪歩行車
トライウォーカー

【目次】

1. 安全に関するご注意 …… 2
2. 使用目的・製品の特徴 …… 5
3. 同梱部品の確認 …… 5
4. 各部の名称 …… 5
5. ご使用前の準備 …… 6
6. ブレーキ操作方法 …… 8
7. お使いになる前に …… 9
8. お手入れの方法 …… 9
9. 保管について …… 9
10. 点検・保守 …… 10
11. こんな時は …… 10
12. 仕様 …… 11
13. 廃棄 …… 11
14. 保証とアフターサービス …… 11
保証書 …… 12

このたびは、エーアイジェイの歩行車をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、製品を安全にご使用いただくために必要な注意事項や正しい使用方法が記載されています。
介護される方もご一緒にお読みいただき、正しく安全な取扱方法をご理解のうえ、ご使用ください。

取扱説明書はお読みになられた後も、いつでも見られるところに保管してください。
また、ご不明な点がございましたら、お買い求めの販売店、または弊社までお問い合わせください。
本製品は改良などの仕様変更により、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。

AIJ 株式会社　エーアイジェイ

1. 安全に関するご注意

＊ご使用になる前に必ずお読みください。
＊ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、あなたや他人の危害を未然に防止する為のものです。

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

[表示マークの説明] ＊正しい取り扱いに関する必要事項をシンボルマークで表示しています。

警 告	取り扱いを誤った場合に死亡または重傷にいたる可能性が想定される事を示しています。
注 意	取り扱いを誤った場合に、傷害にいたる可能性または物的損害の発生が想定される事を示しています。
禁 止	してはいけないこと（禁止内容）を示しています。
必ず守る	必ずしなければならないことを示しています。

警 告

（生命にかかわるケガをする恐れが想定される内容を示しています。）

禁 止

- ●この製品は、自立歩行を支援する為の「歩行車」です。それ以外の用途には使用しないでください。
- ●この製品は体重100kg を超える方が使用されると、本体が破損・変形してケガをする恐れがあります。この製品の耐荷重（最大使用者体重）を超える方は、使用しないでください。
- ●転倒してケガをする恐れがありますので、歩行が大変困難な方、正しく操作が出来ない方（認知症や小さなお子さまなど）には使用させないでください。
- ●駐車ブレーキをかけない状態で、歩行車から離れないでください。歩行車が動いて事故やケガをする恐れがあります。歩行車の周りの物を取るときや、休憩などで歩行車から離れる場合は、必ず左右の駐車ブレーキを確実にかけてください。
- ●駐車ブレーキをかけたまま走行したり、引きずったりしないでください。転倒し、ケガをする原因となります。
- ●走行中、片方だけのブレーキ操作はしないでください。反対側の車輪だけが旋回し、バランスを崩し、転倒する恐れがあります。走行中にブレーキをかける時は、必ず両手でハンドルを握って、左右両側のブレーキを同時にかけてください。
- ●片側のみに重心を掛けて使用しないで下さい。バランスを崩し転倒してケガをする恐れがあります。
- ●バッグの中以外の場所に荷物を掛けたり、載せたりしないで下さい。重心が不安定になり、転倒してケガをする恐れがあります。
- ●高さ調節ボルトが1箇所でもゆるんだ状態で歩行車を使用しないでください。高さ調節ボルトは、2箇所とも確実に締め付けた上でご使用ください。ゆるんだ状態で使用されますと、高さ調節ボルトがはずれ、歩行車がバランスを崩すことになり、転倒しケガをする恐れがあります。
- ●屋外に放置しないでください。サビなどにより製品が劣化します。保管は屋内で行なってください。
- ●歩行車を火気に近づけないでください。プラスチック等が変形したり、熱くなった金属部分でやけどするなど危険です。熱湯消毒についても同様です。
- ●絶対に改造・分解をしないでください。強度や耐久性が劣化して危険です。また、事故の原因となります。

⚠警 告

禁 止

- ●段差を決して勢いをつけて乗り越えないでください。転倒しケガをする恐れがあり、大変危険です。フレーム及び車輪等の損傷の原因となります。段差の前では一旦停止して前輪を持ち上げて乗り越えてください。
- ●複数の人数で使用しないでください。この歩行車は一人用です。破損・事故の原因となります。
- ●ブレーキレバーは作動方向以外に力を加えないでください。また、必要以上に力を加えないでください。ブレーキが変形・破損する恐れがあります。
- ●介助者は車輪の向きを変えるなど、利用者の意図していない無理な力をかけて歩行補助をしないでください。
- ●歩行車を投げたり落としたり、衝撃を加えないでください。
- ●大きな段差のある場所・階段では使用しないでください。
- ●坂道や傾斜のあるところで駐車しないでください。安定性が悪くなり、転倒の恐れがあり大変危険です。傾斜地では駐車ブレーキをかけても歩行車が動く場合があり、大変危険です。滑りやすい床面では駐車ブレーキをかけても歩行車が動く場合があります。
- ●踏み切りを横断の際は、斜めの角度で進入しないでください。車輪がレールの溝にはさまる可能性があります。必ず介助者と渡ってください。

必ず守る

- ●道路通行の際は、必ず右側通行をしてください。また、歩道を通行してください。
- ●ご使用になる前には、10 ページの「点検･保守」をよくお読みいただき、点検を行なってください。思わぬケガをする原因となります。

⚠注 意

禁 止

- ●可動部（車輪、ブレーキ、開閉レバーなど）に手を挟まないようにしてください。ケガの原因となります。
- ●走行する際には片手で操作しないでください。傘をさしながら、また片手に荷物を持ちながらの片手操作ではバランスを崩す原因にもなります。ハンドルは必ず両手で操作し、バランスを保ちながらゆっくりと走行してください。
- ●バッグには、５ｋｇ以上の荷物は入れないでください。また鋭利なものやペットを入れないでください。破損や思わぬ事故の原因となります。
- ●フレームに足をかけたり、乗った状態で使用しないでください。フレームの破損、転倒の原因となります。

⚠注 意	
禁 止	●下記のようなところに歩行車や部品を放置しないでください。 ・車道に近いところ　・人通りのあるところ　・路面に段差や凹凸があるところ ・湿気の多いところ　・雨風の当たるところ　・海沿いの屋外（潮風の当たるところ） ・直射日光の当たるところ（車内も含む）　・ストーブなど火気を使用し高温になるところ ・ほこりの多い場所　・子どもがいたずらをする恐れのある場所 ・非常口、消火器、消火栓の前　・坂道 ・暑い日や寒い日の屋外（事故やサビ・破損の原因となります。）
必ず守る	●ハンドルの高さは、必ず左右同じ高さにしてください。 ●ブレーキは必ず手で操作してください。他の物でブレーキ操作しないでください。 ●回転している車輪に指等を差し込まないように注意してください。 ●傾斜地での走行は、歩行車が予想外の方向に進むなど大変危険です。また転倒の原因となります。十分に注意して走行してください。 ●雨ざらしにしたり、雨・雪の日の使用、ぬかるみ、水たまり等のある場所でのご使用はお避けください。車輪のサビ等により故障の原因となります。 ●次のような場所・状況でのご使用は危険です。使用を避けるか、介助者に同行してもらってください。 ・エスカレータ　・階段　・坂道　・ぬかるみ　・踏み切り　・交通量の多い道路 ・防止柵のない側溝や路肩付近など　・凹凸の激しい道　・夜間、雨や雪、風の強い日 ・凍結路　・深い砂利道や砂道　・その他危険が予想される場所 ●夜間や、雨降り時は通行者や車から発見しにくくなります。十分にご注意ください。 ●発進するときや段差を乗り越えるときには、車輪が真っ直ぐになっていることを確認してから走行してください ・斜めに進入したり、車輪が斜めになった状態で発進すると段差を乗り越えられなくなったり、車輪の破損や車輪からタイヤが外れる原因になったり、事故の原因となる恐れがあり大変危険です。 ●正しく操作が出来ない方は使用しないで下さい。

2. 使用目的・製品の特徴

本製品は、自立歩行が困難な方の歩行を支援する為の歩行車です。

●身長・体格に応じて、ハンドルの高さ調整ができます。

●小回りが良くききますが、片手操作・片側への重心のかけすぎは、バランスを崩し転倒の原因となります。また無理な段差の乗り越えは、絶対にしないでください。

●走行中、片方だけのブレーキ操作はしないでください。反対側の車輪だけが旋回し、バランスを崩し、転倒する恐れがあります。走行中にブレーキをかける時は、必ず両手でハンドルを握って、左右両側のブレーキを同時にかけてください。

3. 同梱部品の確認

本製品には以下の部品が同梱されていますので、確認してください。

・バッグ　・バスケット　・杖ストラップ　・高さ調節ボルト（2個）　・取扱説明書（保証書）

4. 各部の名称

（寸法・諸元等仕様は、11ページの「仕様」をご覧ください）

①ハンドグリップ…… 歩行される際に握る部分です。

②ブレーキレバー（左右）・駐車ブレーキ ……ブレーキをかける時は握ってください。
…… レバーを押し下げると駐車ブレーキがかかります。

③高さ調節ボルト（左右）…… ハンドルの高さを調節する際に使います。6段階調節できます。

④バッグ ……容量14ℓの大型バッグで取り外しができます。5kgまで荷物を入れられます。

⑤ブレーキ調節ネジ…… オレンジ色の調節ネジでブレーキの効き具合を調整します。

⑥ブレーキ金具 ……この金具で車輪を押し付け、ブレーキがかかります。

⑦後輪（左右）…… 旋回しない車輪です。横すべりを防止します。

⑧前輪 ……自在に旋回し方向転換ができます。後輪と同様に大型で、浮き上がりを防止します。

⑨開閉レバー …… フレームを広げたり、折りたたんだりする際に使用します。

⑩開閉金具 …… フレームを広げたり、折りたたんだりする際の連結金具です。

⑪バスケット …… 2kgまで荷物を入れられます。取り外しができます。

⑫杖ストラップ …… 杖の固定ができます。

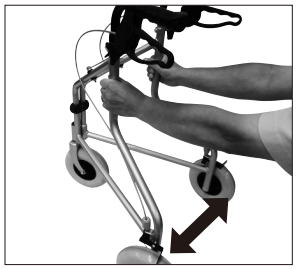
⑬ブレーキワイヤー（左右）…… ブレーキや駐車ブレーキを操作する為のワイヤーです。

5. ご使用前の準備

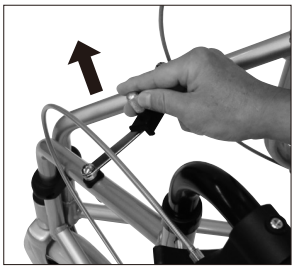
組立ておよび準備

①組立て方法

<注記>高さ調節ボルトは、本体パイプの外側から内側に向け、差し込んでください。



1. ハンドルをフレームに差し込み、高さ調節ボルトで軽く締め、ハンドルが回らないようにします。固定フレームを左右に広げてください。



2. 開閉レバーを前に押し出し、開閉金具がしっかりと一直線になった事を確認してください。

3. フレームがしっかりと開いていることを確認し、バッグ・バスケットをフレームに引っ掛けるように取り付けてください。

⚠注 意	・フレームを開閉するときは、開閉レバーと金具の間に指を挟まないように注意してください。

②ハンドルの高さ調節

⚠注 意	・高さ調節ボルトの取り付けは、本体パイプの外側から内側に向け差し込んで締めてください。誤って内側から無理に締めつけようとするとネジが破損し、故障の原因となりますので正しく取り付けてください。

1. 高さ調節ボルトを右（時計まわり）に廻し、ボルトを締めてください。

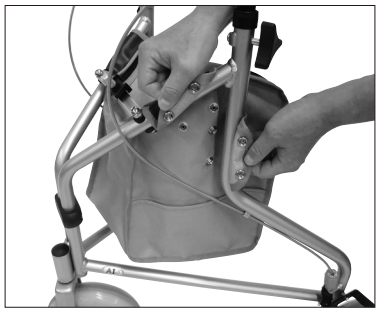
2. 高さは6段階に調節できます。適切な高さで確実に締め付けてください。

3. 左右のハンドルが同じ高さであるか、確認してください。

4. 締め付け後は、ハンドルが上下左右に動かないことを確認してください。

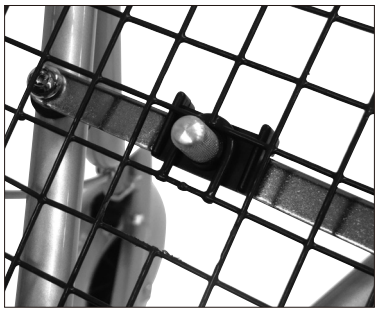
⚠注 意	・ハンドルの高さは両方とも同じ高さにして確実に締め付けてください。 ・高さが違ったり、調節ボルトがゆるんだまま使用されますと歩行車がバランスをくずし、転倒して事故やけがをする恐れがあります。 ・高さ調節ボルトが１箇所でもゆるんだ状態で歩行車を使わないでください。高さ調節ボルトは、２箇所とも確実に締め付けた上でご使用ください。ゆるんだ状態で使用されますと、高さ調整ボルトがはずれ、歩行車がバランスを崩すことになり、転倒しケガをする恐れがあります。
❗必ず守る	・左右の駐車ブレーキを確実にかけてから、ハンドルの高さ調節をしてください。

③バッグ・バスケットの取りつけ方



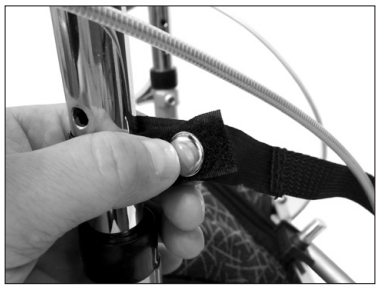
バッグ
ホックでフレームに取り付けます。

バスケット
フレームがしっかりと開いていることを確認し、バスケットをフレームに引っ掛けるように取り付けてください。



バスケットを取り付ける際、開閉レバーの突起部分がバスケットのひっかけ穴に入るようにしてバスケットを固定させます。

④杖ストラップのご使用方法



杖ストラップをハンドルパイプに取り付けてください。ホックをパチッと音がするまではめ込み、外れないか確認してください。

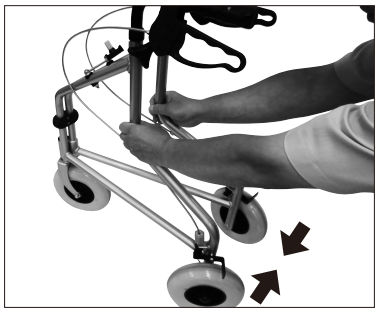
バッグのサイドポケットに杖の先端を収納してください。

杖をストラップで巻きつけ、マジックテープで留めてください。ハンドルパイプ部にしっかりと固定されているか確認ください。

⑤折りたたみ方法

1. バスケットを取り外します。(バッグは中の荷物を取り出してください。バッグはつけたまま折りたためます。)

2. 開閉レバーを手前に引っ張り、軽く内側に折りたたみます。



3. 左右ハンドルもしくはフレームを握って中央に寄せるようにたたみます。(折りたたみ後、歩行車は自立します。)

⚠注 意	・フレームを開閉するときは、開閉レバーと金具の間に指を挟まないように注意してください。

6. ブレーキ操作方法

①ブレーキのかけ方

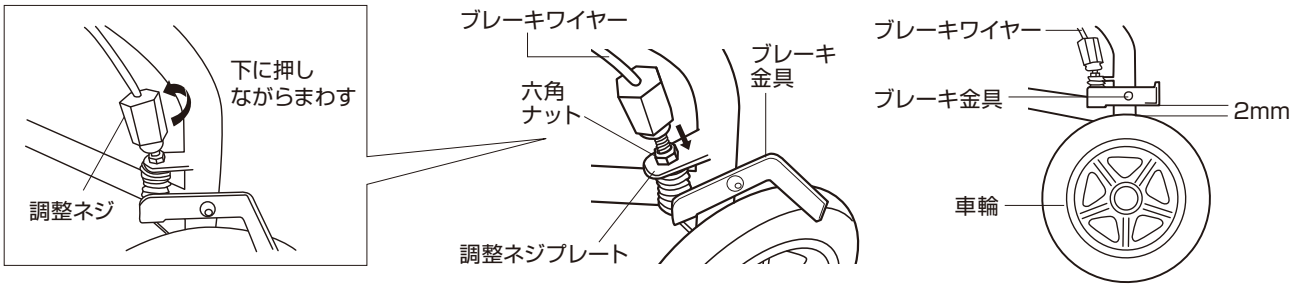
●ブレーキレバーに指をかけ、強く握るとブレーキが効きます。
●ブレーキをかけたときに左右の後輪がしっかり止まっていれば正常です。
●握った指を離すとレバーは元に戻り、ブレーキが解除されます。

②駐車ブレーキのかけ方

●ブレーキレバーをカチッと音が鳴るまで押し下げる。駐車ブレーキがかかり、後輪がロックされます。
●ブレーキをかけたときに左右の後輪がしっかり止まっていれば正常です。
●駐車ブレーキを解除したいときは、再度レバーを引き上げると解除されます。

⚠警 告	●走行中、片方だけのブレーキ操作はしないでください。反対側の車輪だけが旋回し、バランスを崩し、転倒する恐れがあります。走行中にブレーキをかける時は、必ず両手でハンドルを握って、左右両側のブレーキを同時にかけてください。 ●駐車ブレーキをかけたまま走行したり、引きずったりしないでください。転倒し、ケガをする原因となります。
⚠注 意	●ブレーキ操作の時に、ハンドグリップとブレーキレバーの間に指を入れないでください。指をはさんでケガをする恐れがあります。 ●傾斜地では駐車しないでください。傾斜地では駐車ブレーキをかけても歩行車が動く場合があり、大変危険です。

③ブレーキの調節方法（ブレーキの効きを強くするとき）



●調節ネジを下に押しながら、反時計回りの方向にまわし、ブレーキ金具のすき間を調節します。
●調節後は必ず六角ナットを調節ネジプレートに接触するまで下に回しながら下げ、固定してください。
●車輪端とブレーキ金具のすき間が約2mm になったところが調節の目安です。
＊ブレーキ調節を行なっても改善されない場合は、お買い求めの販売店、弊社までお問い合わせください。

⚠注 意	●調節ネジを時計回りの方向にまわすと、ブレーキの効きが弱くなります。 ●ブレーキ金具と車輪端とのすき間が約2mm になるように調節をしてください。 ●ブレーキ調節の後は必ずブレーキレバーを操作し、ブレーキが確実に効くことを確認してください。

7. お使いになる前に

歩行車を使用する前に、安全のため各部の点検を行なってください。

●装着品の確認

・バッグのホックはフレームにしっかりと取り付けられていますか？
・バスケットの取り付け部は本体にしっかり固定されていますか？
・杖ストラップはハンドルパイプにしっかり取りつけられていますか？

●ハンドルの確認

・取り付けボルトはしっかりと締められていますか？
・ハンドルの高さは左右同じですか？

●ブレーキの確認

・ブレーキをかけた状態で後輪が回転しませんか？効きは弱くないですか？
・駐車ブレーキをかけた状態で、後輪にしっかりと駐車ロックがかかっていますか？

●車輪

・車軸にしっかりと固定されていますか？
・スムーズに回転しますか？
・車輪は磨耗していませんか？

●その他全般

・ガタツキはありませんか？
・まっすぐに走行できますか？
・各部ボルトやナットが緩んでいませんか？
・ワイヤーが部品等に引っかかっていませんか？

⚠注 意	確認を行わず、正しく作動しない状態でお使いいただくと、転倒やケガの原因となります。

8. お手入れの方法

●汚れの除去は、市販の中性洗剤を用いてください。本体の水気は乾いた布でふき取り、日陰で乾燥してください。
●バッグは洗濯しないでください。汚れが目立つ場合は、柔らかい布でふき取ってください。日陰で乾燥させてください。
●フレーム（車体）や車輪についた泥や砂を放置したままにしないで、必ず落としてください。
●よく絞った布で、土やほこりをふき取ってください。
●雨水に濡れたら、それらの水気を十分にふき取ってください。乾いた布で水分をとり日陰で乾燥させてください。

⚠注 意	●シンナーやベンジンなどの揮発性のものは使用しないでください。変質・変色・傷みの原因となります。 ●たわし、みがき粉、硬いブラシは使用しないでください。傷みの原因となります。 ●熱湯で洗浄しないでください。変質・変色の原因となります。

9. 保管について

●雨ざらしにしないでください。サビや劣化の原因となります。また長期間ご使用にならない時は、汚れを落とし歩行車を折りたたんだ上、日陰で保管してください。
●寒いとき、暑いときには屋外に置かないでください。バッグが変色したり、硬化してトラブルの原因になる恐れがあります。
●潮風の当たる場所、直射日光の当たる場所に保管せず、必ず屋内で保管してください。変形・変質・サビなどの原因となります。
●下記のようなところに歩行車や部品を放置しないでください。（事故やサビ、破損の原因となります。）

・車道に近いところ　・人通りのあるところ　・路面に段差や凹凸のあるところ
・湿気の多いところ　・ほこりの多い場所
・子どもがいたずらをする恐れのある場所　・非常口、消火器、消火栓の前　・坂道や傾斜地

10. 点検・保守

●ハンドルがしっかり固定されていますか？

ハンドルの高さ調節ボルト（左右）を締めこんだとき、しっかりと固定しているか確認してください。

●高さ調節ボルトが1箇所でもゆるんだ状態で歩行車を使わないでください。

高さ調節ボルトは、2箇所とも確実に締め付けた上でご使用ください。ゆるんだ状態で使用されますと、高さ調節ボルトがはずれ、歩行車がバランスを崩すことになり、転倒しケガをする恐れがあります。

●ネジの緩みはありませんか？

ネジの緩みがないことを確認してください。ネジが緩んでいたら必ずしっかりと締めてください。締めてもすぐ緩む、締まらないなどの不具合があれば、直ちにご使用をお止め頂き、すぐにお買い求めの販売店までご連絡ください。

●ブレーキはしっかり効きますか？

ご使用前には必ずブレーキの効き具合を確認し、効きが悪いときにはご使用をお止めいただき、すぐにお買い求めの販売店、弊社にご連絡ください。

●各車輪が地面にしっかり接地していますか？

前輪と後輪二輪が接地しているかご確認ください。正しく三点接地していない場合、フレームの歪みやネジの緩みが考えられます。

●ハンドグリップは固定されていますか？

ご使用前には必ずハンドグリップがしっかりと固定されているかを確認してください。

●ブレーキワイヤーは切れていませんか？

ブレーキが効かなかったり、転倒するなど大変危険です。

●音鳴りがしませんか？

異音がする場合、どこでその音が発生しているかを確認してください。原因が不明な場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

●消耗部品の交換は必要ですか？

車輪、ブレーキワイヤー等は消耗部品です。消耗部品の磨耗がないか確認し、異常や磨耗が発見された場合には交換してください。（消耗品については、11 ページ「保証とアフターサービス」項目4、消耗部品をご覧ください。）

⚠注 意	異常が見つかったら、直ちにご使用を中止して、お買い求めの販売店、弊社へご相談ください。

11. こんな時は

状況	原因	対処方法
ブレーキ、駐車ブレーキが効かない	ブレーキワイヤーの断線や折れ曲がり	ブレーキワイヤーの交換（お買い求めの販売店へ）
	ブレーキ金具の位置ずれ	調節ネジを回し車輪とブレーキ金具のすき間調節を行なってください。
	タイヤの磨耗	車輪の交換（お買い求めの販売店へ）
	ブレーキ金具のねじれ、曲がり	ねじれ、曲がりを修正してください。
	車輪の破損	車輪の交換（お買い求めの販売店へ）
ハンドルがぐらぐら動く	ハンドルの高さ調節部がきちんと固定されていない	ハンドル高さ調節部分の固定ボルトが穴にきちんとセットされているか、しっかりと締められているか、確認してください。
車輪の回転がスムーズでない。直進性も悪い	車輪の片べりや損傷	車輪の交換（お買い求めの販売店へ）
水平な場所でも歩行車全体が前後左右に傾く	タイヤの磨耗	車輪の交換（お買い求めの販売店へ）

⚠注 意	破損・異常が発生した場合は、そのまま使用せずお買い求めの販売店にご連絡の上、点検・修理をお受けください。

12. 仕様

項目	仕様	
名称（型名）	トライウォーカー （TR－62）	
フレーム全体	自立型左右折りたたみ式	
全幅	62cm	
全長	61cm	
全高	78 ～ 90.5cm（6段階調節）	
本体重量（付属品含まず）	6.2kg	
車輪（キャスター）径	20cm	
耐荷重（最大使用者体重）	100kg	
付属品	バッグ、バスケット、杖ストラップ	
材質	本体フレーム	スチール
	ハンドグリップ	ポリ塩化ビニル（PVC）
	ブレーキレバー	ナイロン（PA）
	車輪（キャスター）	タイヤ：ウレタン（PU） ホイール：ポリプロピレン（PP）
	バッグ	ナイロン
	バスケット	スチール

＊記載の重量や寸法は設計値であり、実際の車体とは多少誤差がある場合があります。

13. 廃棄

各自治体により分別方法が異なることがありますので、それぞれの指示に従って処分や廃棄を行なってください。

14. 保証とアフターサービス

1. 保証書

この商品には保証書をお付けしております。

＜ご注意＞弊社の定める保証とは、正常な使用状態において、故障が生じた場合に限り、
無償にて修理を行なうことをお約束するものです。

2. 保証対象とその期間

お買い上げ日より1年間（消耗部品を除く本体）

3. 保証期間後

お買い求めの販売店にご相談ください。修理によって商品の機能が維持できる場合は、ご希望により有償修理させていただきます。

4. 消耗部品

・車輪　・ブレーキー式　・ブレーキワイヤー　・ベアリング　・ハンドグリップ　・バッグ
・バスケット　・杖ストラップ

5. 補修用部品の最低保有期間

弊社はこの商品の本体製造打ち切り後、５年間保有しています。
補修用部品とは、消耗部品を含むその製品の機能を維持するために必要な部品です。

6. 本製品を他人に譲る場合

この製品を他の方にお譲りになるときは、必ず本書も併せてお渡しください。（本書がない場合は、保証の対象外となります。）
購入後、不特定多数の方がご利用になる場合は、保証されません。

7. 一度使用したものは、原則として製品のお取替えはできません。

＜お願い＞異常や不具合が見つかったら使用を中止して、すぐにお買い求めの販売店までご連絡ください。

三輪歩行車 トライウォーカー 保証書

取扱説明書の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理いたします。
製品と本書をご持参のうえ、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。
製品の保管場所での出張修理や製品輸送の場合は、出張料や輸送費などの実費を申し受けます。

品名	トライウォーカー	型　名	TR－62
色	□エメラルドグリーン　□シャンパンゴールド ＊四角内にチェックを入れてください。		
※お買い上げ日	年　月　日		
保証期間と保証対象	本体お買い上げ日より　1年		
※お客様お名前		お電話番号	
ご住所	〒		
※販売店名			
ご住所	〒　㊞		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

＜ご注意＞

1. 保証の適用除外となる場合（保証期間内であっても次の場合には有償修理となります）
   ①製品の本来の使用目的に従わずして生じた故障・破損。
   ②改造や不当な修理による故障および損傷。
   ③弊社が指定する純正部品以外のパーツ等の使用により発生した破損。
   ④ご使用による消耗品および取扱不注意による破損。
   ⑤火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、および公害、塩害、煙害、ガス害（硫化ガスなど）、などによる故障および損傷。
   ⑥お取り扱いの不注意、操作未熟ならびに故意または過失など誤って使用されたことによる破損。
   ⑦一般に歩行車が通行しない場所、または特殊な状態での使用による破損。
   ⑧取扱説明書に従わずして生じた故障破損。
   ⑨取扱説明書に禁じられている使用方法によって生じた故障破損。
   ⑩本書にお買い上げ年月日、お客様名および販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
2. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
3. 本書は盗難・火災などの不可抗力以外で紛失された場合は、
   再発行いたしませんので、大切に保存・保管してください。

＊お客様にご記入いただいた記載内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
＊この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

AIJ1508-TRV1

株式会社　エーアイジェイ
〒532-0004　大阪市淀川区西宮原２丁目7-38　TEL：06-6393-3622　FAX：06-6393-3822
http://www.aij-osaka.com